

テレワークの種類	在宅勤務	モバイルワーク	サテライトオフィス	狙い	生産性向上	移動時間短縮	非常時の事業継続	顧客満足度向上	WLB向上	オフィス費用削減	通勤弱者対応	創造性向上	優秀な人材確保	省エネ・CO2対策
	○	○			○				○	○	○	○	○	

企業の概要

企業・団体名	株式会社MUGENUP	本社所在地	東京都
業種	情報通信業	総従業員数	240人
事業概要	イラストや3DCGなどのクリエイティブ制作、コンテンツ制作、ソリューションサービス、人材コンサルティング		

テレワーク実施概要

雇用上の規定	就業規則による
テレワーク担当部署	人事部
テレワーク対象者	全社員
実施者数	約110名
平均実施日数	月16回以上(概ね週4回以上)

テレワークの導入・拡大の経緯

■導入の目的「優秀な人材の採用、地方での雇用機会の創出」

MUGENUPがイラスト制作事業に参入した2012年当時、携帯ゲームの爆発的な市場拡大によってイラスト需要が急増、供給が追いつかず著しい人材不足となっていました。一方でイラストなどクリエイティブ系の仕事は大都市圏に企業が集中し、地方在住クリエイターにはなかなか就労機会がありませんでした。そこで弊社はテレワークによる業務体制を構築、全国から優秀なクリエイターの採用を可能とした結果、業績を大きく伸ばし、事業規模の拡大を続けています。現在では【全従業員の約4割弱がフルタイムの在宅勤務】として働いています。さらにテレワークによって実現した分業化はイラスト制作の質の向上と、制作速度の向上に大きく寄与しています。

テレワークの概要・特徴

■業務にICTを導入して地方在住者のフルタイム在宅勤務を実現

複数のICTツールを複合的に運用し、過剰な業務負担や長時間労働を抑止。イラストの制作から納品までを管理する業務システムを自社開発した他、日常業務にICTを全面的に導入、地方在住者のフルタイム在宅勤務を実現しました。同時に複数のICTツールによって業務状況を管理し、過労や長時間労働を未然に防いでいます。

■採用や人事評価にもテレワークを導入

採用面接から人事評価面談もテレワークで実施、全国から優秀な人材の確保を実現しました。その結果、多数の従業員が本社に一度も出社せず在宅勤務しています。
<https://news.mynavi.jp/article/20181215-mugenup1/>

■全社会議や社内イベントなどもテレワークによって地方在住者と共有

情報面や精神面で在宅勤務者の孤立を防ぎ、良好な業務環境を実現しています。

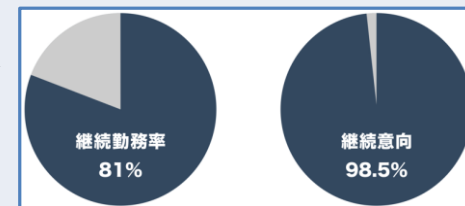
■テレワークによる地方在住者のスキルアップという試み

大都市圏と比較し、地方在住者は就労機会だけではなくスキルアップの機会にも格差があるため、テレワークを活かした社内スキルアップ企画にも取り組んでいます。
<https://japan.cnet.com/article/35140736/>

テレワーク導入の効果(経営にもたらした効果、その他効果)

■安定した高スキル人材の採用と確保

MUGENUPが在宅勤務制度をはじめて以来、フルタイムで在宅勤務につとめる従業員は累計の継続勤務率と継続意向において、どちらも高い数字を誇り、安定した人材の確保に貢献しています。



■地方在住クリエイターに対し、就労機会の創出

地方在住のクリエイターに対してテレワークによる雇用を創出。実績として【全従業員の約4割弱がフルタイムの在宅勤務者】である他、居住地を問わない【業務委託の登録クリエイターは4万人超】にのぼります。

■クリエイターのキャリアと育児や介護の両立など、ワークライフバランスの実現

在宅勤務の活用によって業務キャリアと育児や介護の両立を実現。特に女性クリエイターの活躍がめざましく、【全従業員の約7割弱が女性従業員】となっております。

- ・結婚を機に地方に転居したクリエイターを在宅勤務で雇用、育児と両立。
- ・親族の介護で実家から転居できないクリエイターを在宅勤務で雇用、介護と両立。
- ・特定指定難病でオフィス勤務が困難なクリエイターを在宅勤務で雇用、就労を実現。